

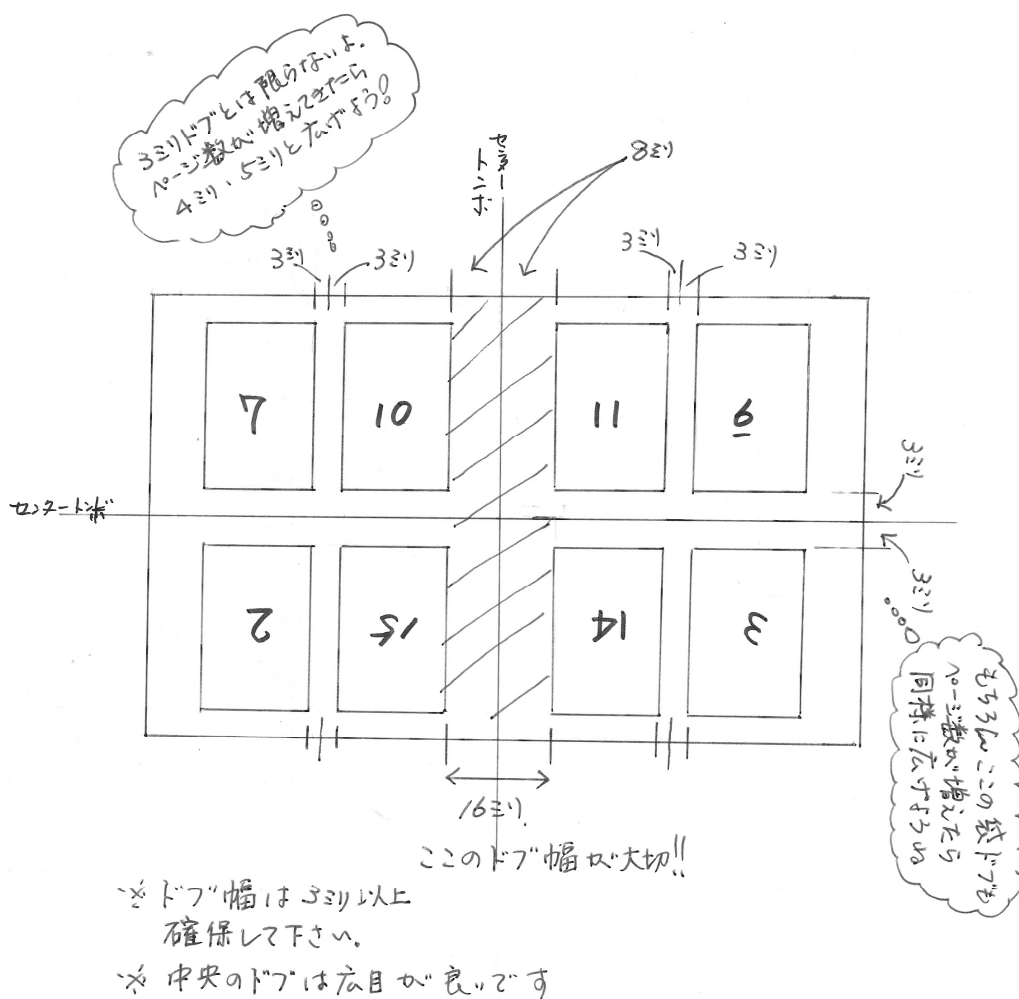
製本のススメ

Vol. 200

『祝！200号』ずっと読んでくださっている方々には、心より感謝を申し上げます。途中からでも引き続き見て頂いている方々にも感謝申し上げます。今後も「製本のススメ」を役立ててください。

今回も「**中綴じの面付を覚えよう！④**」のお話です

中綴じは折丁を上から被せていく作業でページの付け方が変則ですが今回は【16 頁 1台】として折加工の版付けを基本にお話します。さて前回の16頁(八つ折)の折り方を思い出してください。ページ(版)の並びは変わっていませんよ。



斜線部分は本の小口側になります。多くの方がこの斜線部分を空けずにドブが6ミリ(3・3)で印刷されており、後加工に手間が掛かるのみならず、製品の仕上がりにも影響が出てしまいます。では何故こんなに広げるのか？次号でご説明していきます。

弊社 HP は <http://www.isekiseihon.com>

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本